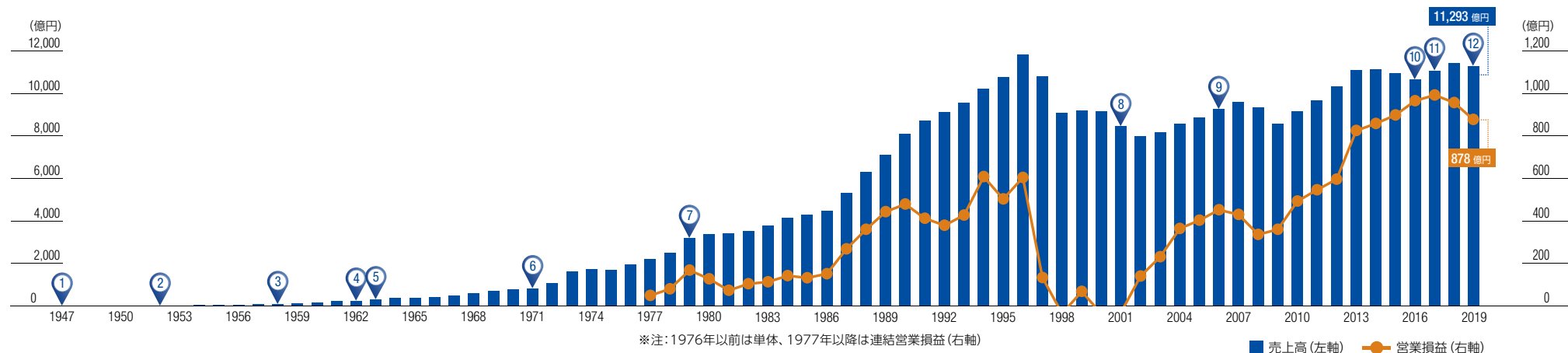


積水化学グループの軌跡

当社は、1947年に、その当時は夢の新素材であったプラスチックの総合的事業化を目指して設立されました。以来、プラスチックに関連する技術・製品を中心に、3S精神で新事業・フロンティア開拓に果敢に挑戦して、新時代を切り開いてきました。

そして長い歴史の中で、事業ポートフォリオを変え、利益を伸ばしてきました。



1 1947年

プラスチックの総合事業化を目的とし、積水産業株式会社として発足



2 1952年

塩化ビニル管「エスロンパイプ」の本格製造開始



3 1958年

合わせガラス用中間膜「S-LECフィルム」の事業を開始



4 1962年

プラスチック製ごみ容器「ポリパール」を全国的に展開し、ごみ問題の解決に貢献



5 1963年

日本の製造業として米国進出第1号
SEKISUI PLASTICS CORPORATION



6 1971年

鉄骨ユニット住宅「セキスイハイム」の販売を開始、住宅事業に本格進出



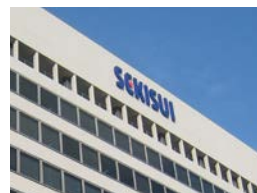
7 1979年

製造から販売・サービスにわたる品質管理の最高栄誉賞「デミング賞実施賞」受賞



8 2001年

社内カンパニー制を導入



9 2006年

第一化学薬品株式会社(現:積水メディカル株式会社)を買収し、新会社を設立



10 2016年

大久保相談役(当時)がデミング賞本賞受賞。会社として日本品質奨励賞品質革新賞を受賞



11 2017年

“ごみ”をまるごと“エタノール”に変換する生産技術の開発に、世界で初めて成功



12 2019年

AIM Aerospace Corporation(現:SEKISUI AEROSPACE CORPORATION)を買収

